



『とりから犬』
宇野沢君作

ISHIZUE
礎

発行責任者 幕田 勝 浩
発行 三春町商工会青年部
総務委員会
委員長 宗像 俊樹
発行日 平成18年3月30日
印刷 土 棚 印刷



青年部部长 幕田 勝浩

昨年四月二十日の定時総会において、三春町商工会青年部長という役職を頂戴してから一年が過ぎようとしています。中央の景気は回復基調ということですが、地方においてはまだまだ厳しい状況が続いており、その中で、責務は重大であると感じております。商工会青年部においては、この『礎』の報告にもある通り、各種の事業・活動を行って来ましたがこれも町民の皆様・各青年部員の協力があってこそであると感謝申し上げます。

全国的な市町村合併が進む中、三春町は合併しないという方針を採りましたが、その方針を支えるのも、我々商工業者そして青年部の責務であると感じております。商工業者に活気が無くては街の活性化も有り得ませんし、魅力ある地域を担う一翼として努力して行かなければなりません。

役職上、田村地域・県中地域・福島県・全国各地の商工会青年部の方達と会議等を通じてお話しする機会も多いのですが、部員数や地域に関係なく、その地方の牽引役となって活動している事に驚き、また刺激も受けております。福島県でも有数の青年部員数を誇る三春町青年部ですが長く減少傾向にあり、組織の再編等も検討する時機に来ているのも現状です。

各々の企業も青年部活動も、自らが動かなければ何も変わっていきません。業界の先輩が常々言っていた言葉が『いつか出来る、誰かがやるではない。今、自分が始めよう』という言葉です。『志とは何か』その究極は一瞬一瞬の生き方で

あり、一日をどう生きて行くかということだと思いません。ビジョンを持つ事は重要ですが、やはり目の前の現実を先送りには進展はありません。次代を担う青年部として、やるべき事を先送りする事無く、自ら動く事が“志ある生き方”であると考えます。

通じて頑張っていく事で『小さくてもキラリと光る三春町』そして『小さくてもキラリと光る青年部』が実現できるように努力してまいりますので町民の皆様にもより一層のご協力・ご支援を頂けますよう三春町商工会青年部を代表して御願

い申し上げます。

- 4月3～30日 桜スタンプラリー実施
- 4月20日 第37回三春町商工会青年部通常総会
- 4月16・17・23・24日 桜スタンプラリー観光案内所開設
- 6月23日 県中地区商工会青年部親善ゴルフ大会
- 7月2日 時計台周辺の草刈作業
- 7月6日 桜スタンプラリー当選者抽選会
- 7月14日 第18回田村地区商工会青年部親善ゴルフ大会
- 7月29日 町長との意見交換会
- 9月28日 第8回青年部ゴルフ大会
- 9月29日 献血への参加
- 10月28～30日 一関地方産業まつり参加
- 11月8日 青年部員のつどい
- 11月15日 三春秋まつり協賛 ゆどうふ食べくらべ三春大会
- 11月16日 三春秋まつり協賛 三春お笑い劇場講演
- 11月18日 ボウリング大会 ボウルアピア郡山
- 平成18年1月20日 新年会 若松屋旅館
- 2月21～23日 京都観光物産展及び湯どうふ大会 (若手後継者等育成事業)
- 3月22日 田村地区商工会青年部親善ボウリング大会

平成18年度事業報告

プライバシー保護



過足 智治
荒町支部
三春電化サービス

昭和51年6月8日生
趣味 車乗り・改造・バイク乗り・オーディオ・音楽鑑賞

青年部員としてこれからの活動を盛り上げていければと思っています。三春町商工会の活動にお役に立てたらと思っています。



石山 幸一郎
荒町支部
大音

昭和56年1月13日生
趣味 ドライブ・スノーボード・ビリヤード

静かだと言われている三春町が活気づくよう青年部員みんなでがんばっていききたいです。



佐藤 久嗣
荒町支部
アック・モールド(術)

昭和54年6月3日生
趣味 読書

何も分かりませんがよろしくお願ひします。

卒業生紹介

ご苦労さまでした

荒町支部 本田 正弘

青年部活動を終えるにあたり、今まで導いて頂きました諸先輩及び関係各位、現役の皆様方に感謝申し上げます。

また、異業種の方々と様々な事業で同じ時間を共有し貴重な体験をさせて頂きました事、重ねて御礼申し上げます。これから三春町商工会青年部の行動力溢れる良き伝統と城下町の文化と若者の感性を融合させ、自らの生業は勿論、三春町の更なる発展のため寄与して頂きたいと思ひます。

八幡町支部 高野 信広

昭和六十二年、商工会青年部に入部して、はや十八年。月日の流れは早いもので、私も今年度をもちまして卒業することになりました。

青年部の活動を通してたくさんの人々や、いろいろな業種の人々と知り合えたことが、私にとって一番の財産です。今後、青年部の活動はもちろん、商工業を取り巻く環境は大変厳しいものだと思いますが、皆さん自身の目標を掲げて、一步一步がんばって

いってください。

長い間、大変お世話になりました。

大町支部 伊藤 進哉

Uターン組の私にとって、あつという間の青年部活動でしたが、お世話になった皆様ありがとうございました。

ブル期にサラリーマンを経験し地元に戻ったときには「なんとしたこった」と思ひましたが、これからは地方の時代だと思ひます。全国どこへ行っても同じチェーン店と小ざいいな街、便利だけれども何か物足りない：そんな中、小さくてもきらりと個性の光る店づくりをめざしてこれからも頑張りたいと思ひます。

北町支部 橋本 盛光

私も、もう青年部卒業か？なんて短い、そして充実した時期だったことだろう。多くの出逢いや貴重な経験をさせて頂きました。

私が青年部活動において、組織としてのスケールの大きな活動や個人としての特色を受け入れてもらえる事業と商人・経営者としての資質を教えていただき、三春町を誇りに思える大切な時期でした。

青年部長までさせて頂いたとき、福島県レベルの活動も出たことも、今でも貴重な人脈として活用させて頂いておられます。

後輩の方々も「今しか出来ない、今だから出来る、今を大切に」を考え、自店の役に立てる考えや教えを相互で切磋琢磨してください。青年部を大好きでいてください。

大町支部 佐久間 喜久

平成六年に入会し、十一年間お世話になりました。平成八年度は、渡辺宏二部長のもと、副部長を勤めさせて頂いてきました。後半は、ほとんど活動に参加できず申し訳ありませんでした。

これからの、地方ならびにわれわれ中小零細企業を取り

「好きこそ物の上手」を實踐願ひます。

最後になりましたが、今まで御指導くださった先輩OBの方々、また支えてくださった現役青年部員の方々、本当にありがとうございました。

みなさん大変お世話になりました。誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。商工会の青年部としての立場でのまちづくり活動、まちのPR活動や、勉強になった研修、楽しかった研修旅行と想い出はたくさんあります。三春町の同年代、先輩方いろいろな業種の方々と交流できたこと、一番の思い出です。

当初青年部に入ったころは景気が良かったものの今は、我々商工業を取り巻く状況はきびしいものであります。いままでの経験を活かし、なんとかがんばっていききたいと思ひます。

